

決算説明資料

2023年12月期

2024年2月13日

株式会社トレードワークス
証券コード：3997

1. 2023年12月期 概況
2. TOPICS
3. 事業環境認識・当社の取り組み
4. 2024年12月期 業績予想
5. ご参考) 中期経営計画 2022年~2026年
6. appendix

2023年12月期 概況

2023年12月期 連結業績

前年同期比14.8%増収、営業利益90.2%減益

売上高

3,753百万円

営業利益

31百万円

当期純利益

▲53百万円

- 当社主力の金融ソリューション事業において、新NISAシステムの提供が順調に推移。売上高は前年同期比で14.8%増加。
- セキュリティ強化、デジタルコマースなど事業拡大に向けた先行投資により、利益面では下振れ。
- 採用・育成などの人材投資を積極的に実施。ペガサス・システム株式会社を子会社化したことによりエンジニア数は、グループ全体で77名の増員。今後の業績拡大へ大きな弾み。
- メタバースプラットフォームなど、当社の強みを生かせる新領域でのビジネスも進展。

堅調 既存・新規顧客の提案強化

- ・ 積極的なIT投資需要に対し、既存・新規顧客への新規案件の提案を強化。
- * 新NISA制度開始需要の高まりを捉えるべき、顧客折衝を強化。

進展 メタバース領域へのプラットフォームを提供

- ・ 金融システムのノウハウを活かし、新領域へ展開。
- * 教育関連企業、団体からの引き合い、受注も進展。

進展 新分野への積極投資

- ・ デジタルコマースなどの新規事業へ積極的に投資。
- ・ テクノロジーファーストの中期経営計画において事業領域拡大に向けた足がかりができる
- * 顧客の要望を汎用的に叶えるため開発強化を継続

強化 積極的な採用活動

- ・ 当社事業拡大の肝となる人員獲得は大きな成果
- * 採用活動・MAが順調に進展し、今期に入り、77名エンジニアが増加

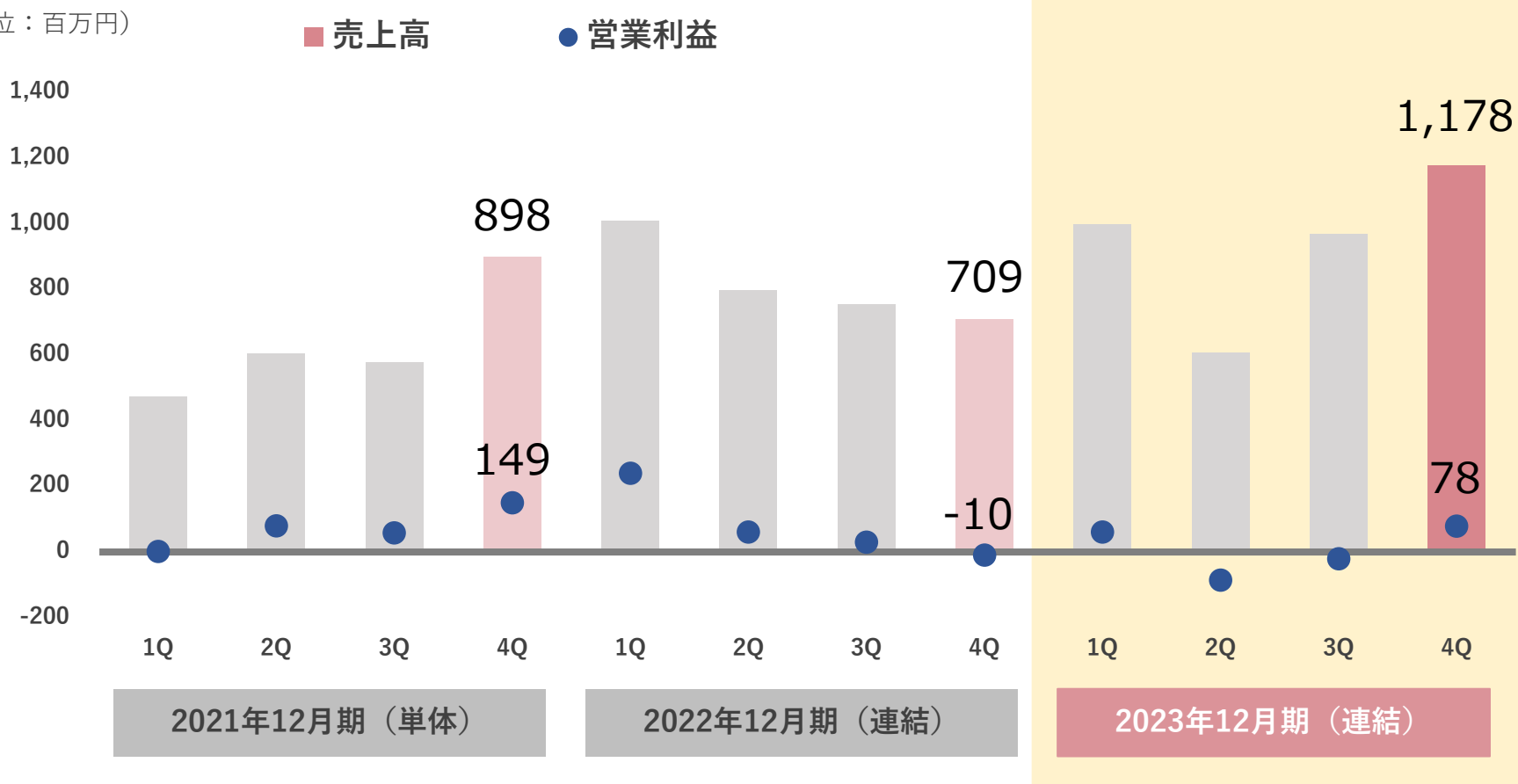
主力の金融システムが堅調に推移したことに加え、ペガサス・システムが第4Qより売上に貢献し、期初計画を7%上振れして着地。
 利益面では、セキュリティ、デジタルコマース関連への投資を早めたこと、事業拡大に向けた本社移転の影響により大幅な減益となる。

(単位：百万円)	2022.12期	2023.12期			前期比
		連結	期初計画	達成率	
売上高	3,270	3,753	3,500	107.2%	14.8%
営業利益	318	31	340	9.2%	▲90.2%
経常利益	327	41	340	12.1%	▲87.4%
当期純利益	200	▲53	220	▲24.2%	-

売上高・営業利益（四半期推移）

第4Q期間では計画以上に売上が増加。先行投資の影響で利益面では期初計画に比べ下振れ。通年で見ると売上規模は堅調に拡大。

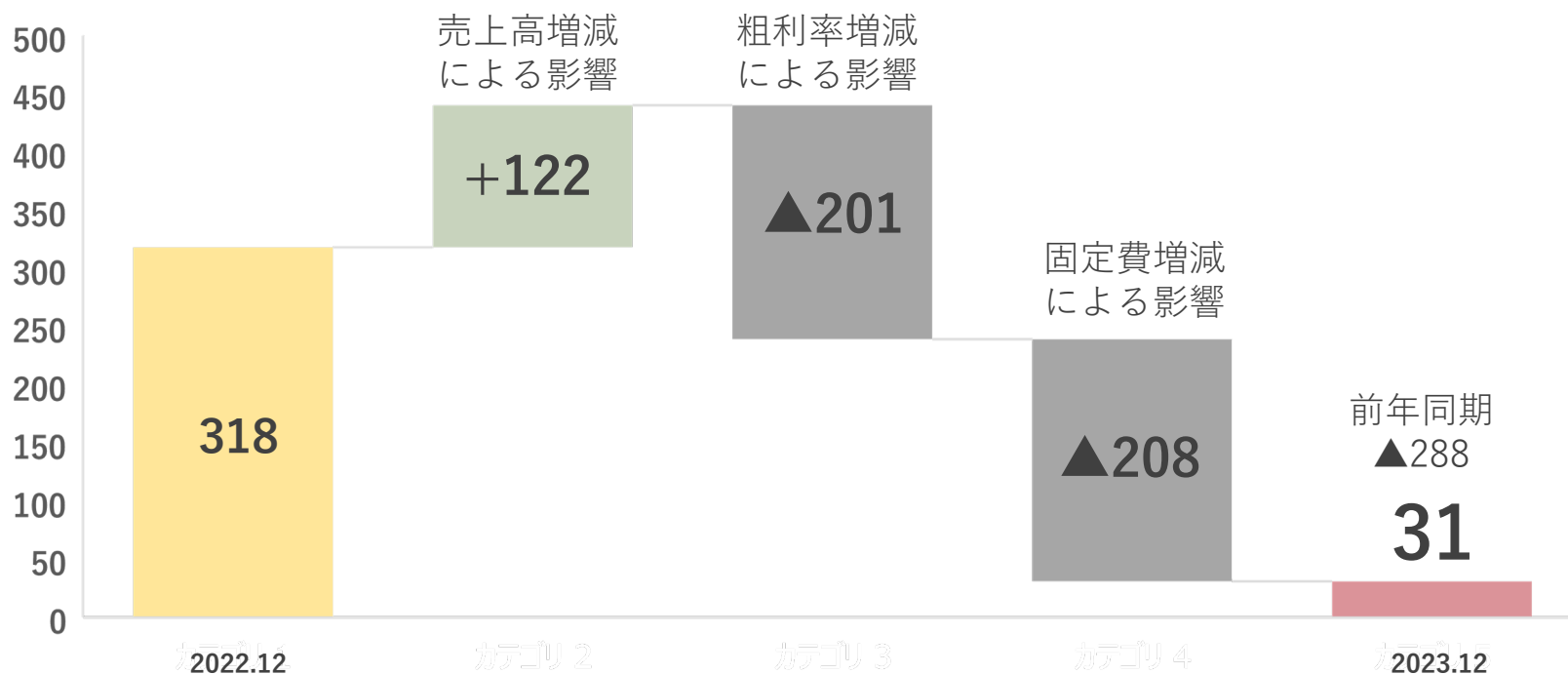
（単位：百万円）



* 当社は、2022年3月に株式会社あじょを子会社化。2023年7月にペガサス・システム株式会社を子会社化。これらに伴い2022年第1四半期より連結決算をおこなっております。

セキュリティ強化、デジタルコマースなど、成長に向けた先行投資を行っていることから、前年比で利益が減少。

(単位：百万円)



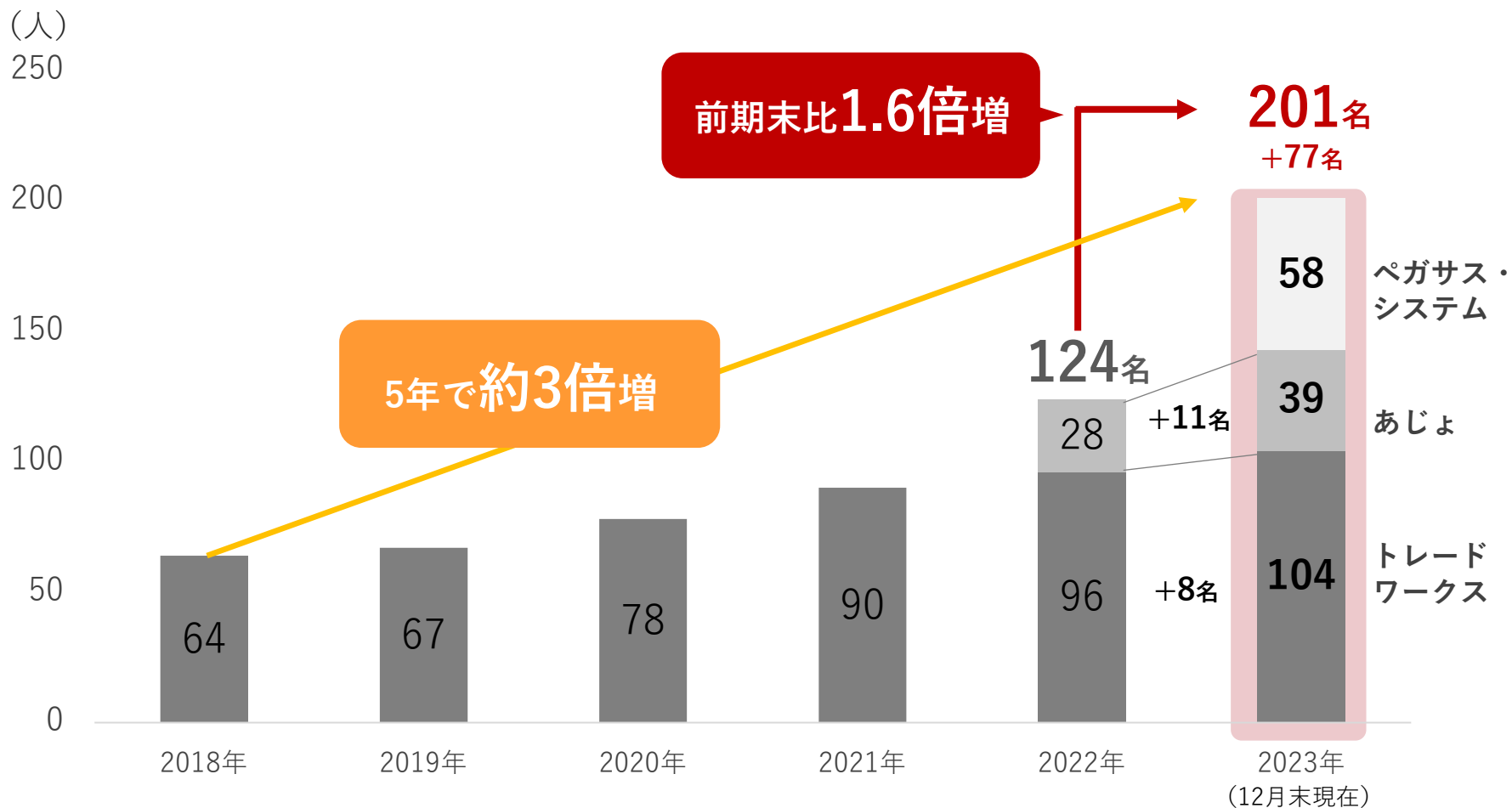
貸借対照表

(単位：百万円)

	2022.12期	2023.12期	増減額
流動資産	1,354	1,824	470
現金及び預金	688	615	▲73
売掛金	195	728	533
固定資産	824	1,219	395
有形固定資産	77	275	198
無形固定資産	269	403	133
投資その他の資産	477	540	63
資産合計	2,178	3,043	865

	2022.12期	2023.12期	増減額
流動負債	539	1,047	508
買掛金	123	176	53
未払法人税	3	25	22
固定負債	176	610	434
純資産合計	1,463	1,385	▲78
負債・純資産合計	2,178	3,043	865

2023年7月にペガサス・システム株式会社を子会社化したことより、エンジニア数は前期末比1.6倍超の77名増加。



*当社は2022年3月に株式会社あじょを2023年7月にペガサス・システム株式会社を子会社化しております。これに伴い、2022年から連結の人数を記載しております。

TOPICS

当社インターネット取引システム「TradeAgent」を アップデート、新たなシステム提供を開始

米国株式の取引機能に
「信用取引機能」「外貨管理機能」
を搭載



国内における米国株式取引および円安に伴う
外貨の取り扱いのニーズが拡大

- 信用取引機能
- 外貨管理機能 を搭載

新NISAへの対応

-成長投資枠、つみたて投資枠-



成長投資枠NISAの取り扱いのスタートをする証券会社に対するシステムリニューアルと併せて、「積立サービス」を新たに開始される証券会社には、つみたて投資枠の管理機能の新設と共に、TradeAgentとシームレスに連動する総合的な積立サービスのシステム提供を開始

株式会社ウイルテックにて 当社メタバースプラットフォーム「Meta Village」が採用

企業魅力醸成に向けたコンテンツ運営、ニューノーマルにおける
採用活動の先駆者として採用活動を共創

株式会社ウイルテック

日本の未来を支える学生に対する新たなアプローチ手法を模索していく中、メタバース特有の「匿名性」「リアリティ」「双方向コミュニケーション」を生かし、活発な情報発信や学生とのコミュニケーション活性化を図ることを目的に、デジタル空間×リアル空間で、多くの人と出会い、企業の魅力を最大限伝えられる、当社メタバースプラットフォーム「MetaVillage」を採用。



サービス構成

- 広報ルーム：同社企業広報、投資情報提供などを行うエリア
- セミナールーム：各種セミナーや説明会などを行うエリア
- コミュニケーションルーム：交流や体験学習などを行うエリア

事業環境認識・当社の取り組み

当社の主軸である金融・証券業界のIT投資意欲は、 コロナによる制限緩和後も旺盛

フィンテックによる金融業界
新規参入業者の増加



5G通信の商用サービス
国内4キャリアでスタート



働き方改革で
自動化・効率化・省力化等の
システム投資への需要が高まる

金融システムの
セキュリティに関する事案の増加



証券会社システム強化への
機運の兆し



2024年12月期の位置づけ

2026年の中計最終年度に向けて成長投資を加速しつつ、収益力向上を急ぐ

成長、飛躍への基盤整備

+

業績拡大の継続・収益力向上

5年間で2.4倍の企業規模への拡大を目論む中期計画において、3年間で1.7倍の成長が必要。
想定通りのスピードで計画遂行中であり、業績向上と将来の飛躍の両面を堅実に実行。

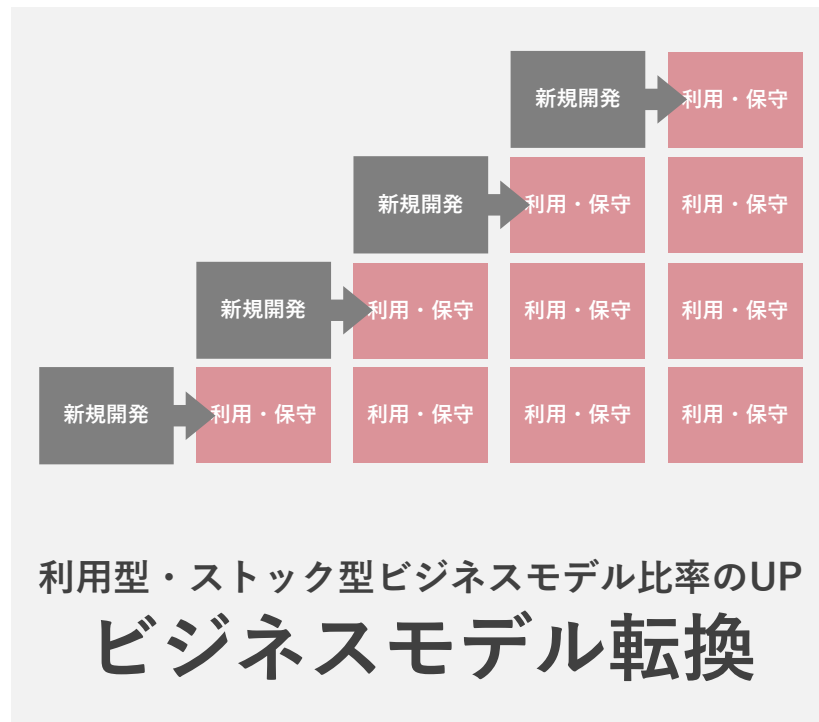
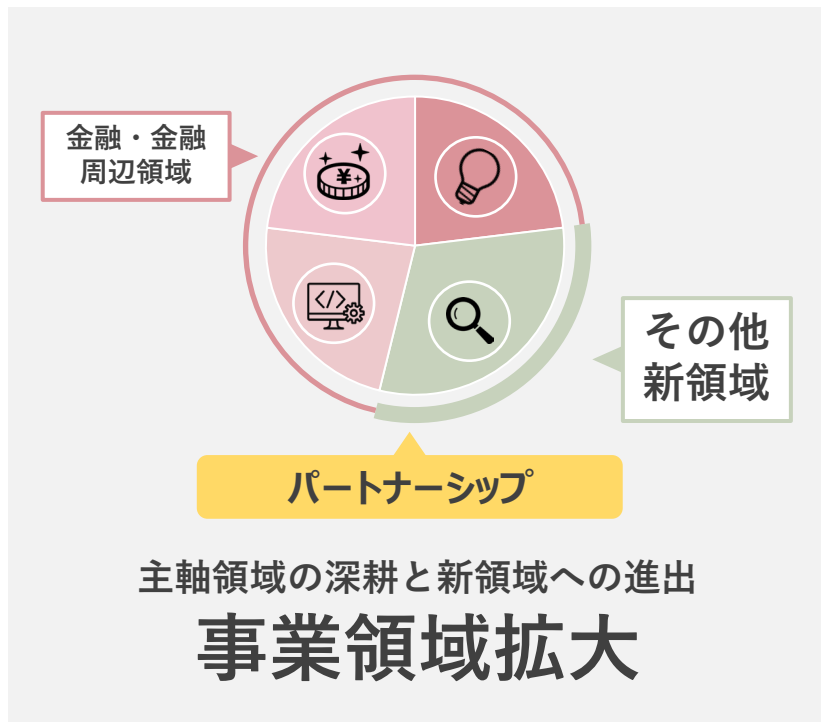
重点施策

前期に掲げた以下の施策を継続強化

- ① 主軸事業の深耕、証券インターネット取引システム領域のシェア拡大
- ② 新事業の収益化。パートナーシップにより準備を進める新ビジネスの育成
- ③ 良好に進捗中の人員拡大を活かし、売上規模と生産性の向上を図る
- ④ 働き方改革、人手不足解消など生産性向上策といった高需要領域進出
- ⑤ AI、IoT技術の利用や、フィンテックによる新しいサービスの開発

持続的な成長を目指し2つの戦略を実施

技術と金融知識を持ち合わせた専門性の高い集団



×

2つの戦略を継続して実施し、規模、収益力を拡大

2024年12月期 業績予想

事業拡大を進め、売上高17.2%の増収を計画。
成長投資を強化しつつ前期比増益を計画。

(単位：百万円)

	2022.12期 連結	2023.12期 連結	2024.12期 連結 (予)
売上高	3,270	3,753	4,400
営業利益	318	31	180
経常利益	327	41	180
当期純利益	200	▲53	110

* 当社は、2022年3月に株式会社あじょを子会社化。2023年7月にペガサス・システム株式会社を子会社化。
これらに伴い2022年第1四半期より連結決算をおこなっております。

経営基盤の強化を最優先し、
将来の事業展開と内部留保とのバランスを考慮し、利益配分を実施

1株あたり20円を予定

	2022.12期	2023.12期	2024.12期 (予)
配当金 (1株)	15円	20円	20円

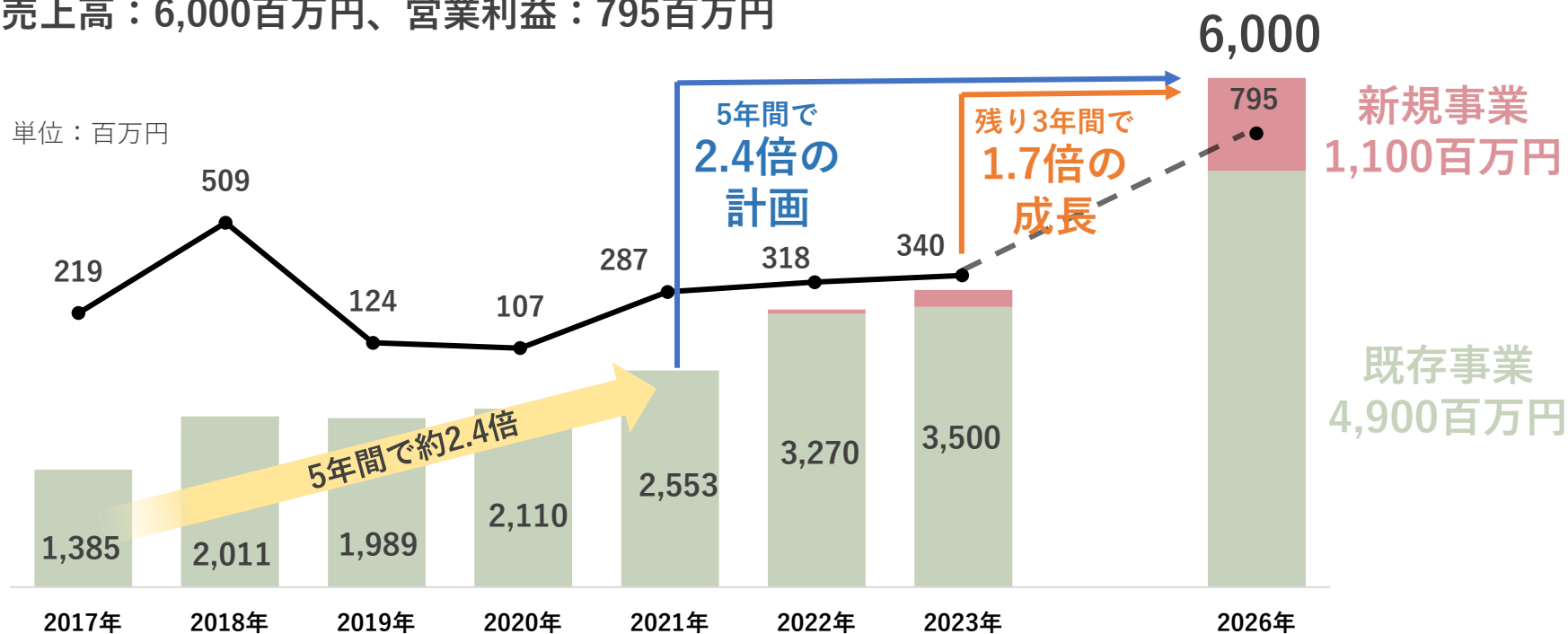
ご参考) 中期経営計画 2022年~2026年

永続的な成長の礎を築くための計画として、2022年12月期を初年度とし、2026年12月期を最終年度とする「中期経営計画」を策定。

テクノロジーファーストを遂行し、金融領域 + α で
2021年12月期比、2.4倍の企業規模を目指します。

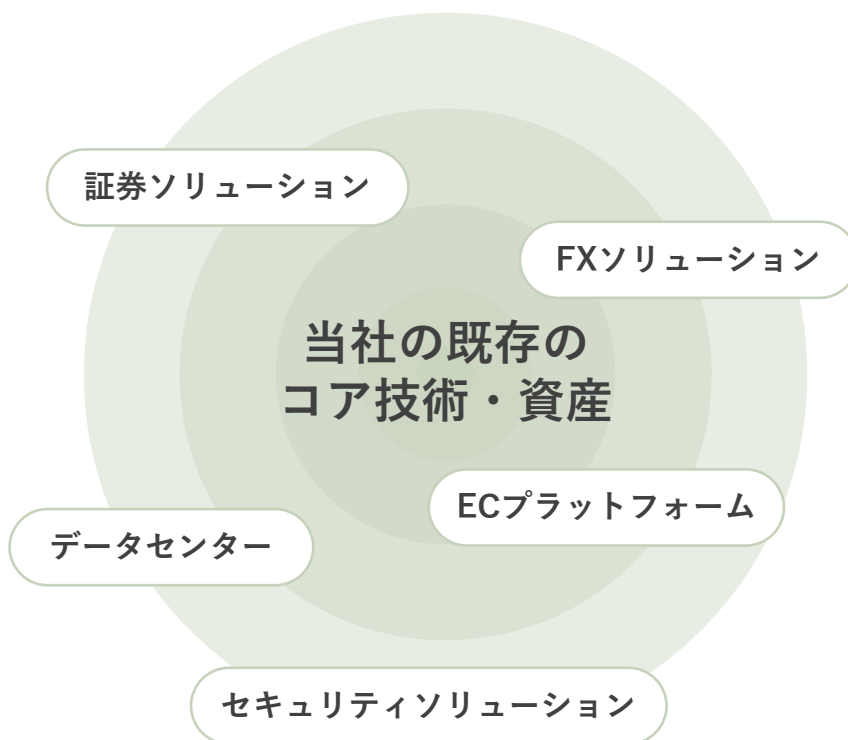
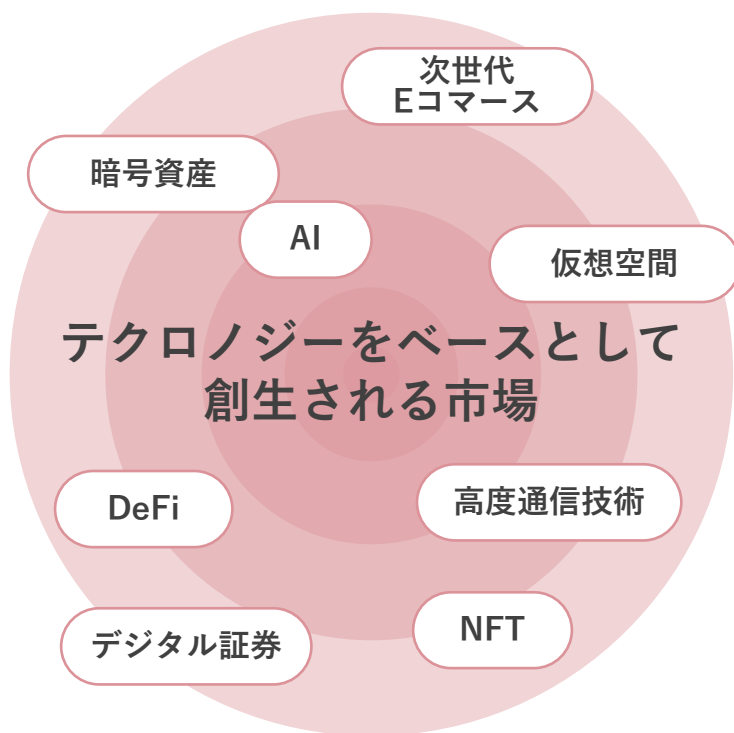
2026年12月期目標

売上高：6,000百万円、営業利益：795百万円



当社の目指す姿

次世代金融、新デジタル時代を見据えた
テクノロジー・ファースト型の企業成長



目標数値

既存事業におけるストック率の向上

- ストック売上高目標 **3,074**百万円（2022年12月期：1,606百万円）
- 既存事業におけるストック売上高比率 **62.7%**（2022年12月期：51.2%）

新規事業の育成

- 新規事業売上目標 **1,100**百万円

新規事業の育成

- エンジニア数 **199**人（2022年12月期：124人）

appendix

技術と金融知識を持ち合わせた 専門性の高い集団

技術

- 最新テクノロジー
- ビッグデータ
- バーチャルリアリティ
- 音声認識
- AI
- RPA
- Fintech
- クラウド



金融知識

- 株式
- FX・CFD
- 仮想通貨
- 投資信託
- 保険
- 年金



ビジネスモデル改革を進め

- ① 予期せぬ不採算案件の発生
- ② 製品及びサービスへの品質・価格に対する顧客からの要請
- ③ 同業他社との競争激化

に準備、対処し収益性向上を図ります。



技術者育成 + 環境整備
全社横断 品質・生産性向上

当該資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等に関する記述は、資料作成時点で入手している情報に基づき当社が判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社トレードワークス

〒107-6110 東京都港区赤坂5丁目2番20号

赤坂パークビル10階

TEL :03-6230-8900 FAX:03-6230-8901

<https://www.tworks.co.jp/>